

▼ 9月8日
ふれあいフェスティバル



ふれあいフェスティバルは、エミフルMASAKIで行われ、親子連れなど多くの人が訪れました。

同イベントは、人権について理解を深め、他者への思いやりなどに気付くきっかけづくりとして毎年県が開催しているもの。当日は「車椅子のアーティスト」佐野有美さんの講演、松前小金管バンド演奏や人権啓発うちわの塗り絵などが行われ、来た人はふれあいを通じ、日々の他者との関わりを見つめ直していました。

▼ 9月1日
防災意識を共有



松前町防災フェア 2013 は、エミフル MASAKI で行われ、四国コカ・コーラボトリング(株)、自衛隊愛媛地方協力本部、四国電力株式会社松山支店、伊予警察署、伊予消防等事務組合が防災に関するブースを出展しました。

自衛隊のブースでは、災害時の備蓄品や救命用のリュックなどを展示。訪れた人たちに、普段からの備えの大切さを訴えていました。

▼ 8月26日
戦没者の冥福を祈って



戦没者合同慰霊祭は、松前総合文化センターで行われ、遺族や関係団体の代表者などが参列しました。式辞では白石町長が「平和で豊かな社会に喜びを感じ、未来を担う子どもたちに引き継いでいきたい」とあいさつ。参列者は献花し、犠牲者の冥福を祈りました。遺族代表あいさつでは八束兼福さんが「戦後世代がはるかに多くなった今、平和な社会をかみしめ、ありがたさを受け継いでいく責任がある」と呼び掛けました。

▼ 8月22日
安心・安全なまちづくりを目指して



安心安全まちづくりたすき贈呈式は、岡田警察官連絡所で行われ、宇野洋一西高柳区長などが参加しました。

同式は、見せる活動で防犯に努めたいとの西高柳住民の思いから実現。たすきと腕章が伊予署と伊予地区防犯協会から 20 セット贈呈されました。式では、富田雅重伊予署長が「考えと行動力が頼もしい」と話すと、区長が「たすきと腕章をつけて防犯向上に努めたい」と返答し、より一層の防犯を誓っていました。

▼ 9月16日
愛媛のゆるキャラを応援しよう



みきゃんとゆるキャラ友達 PR イベントは、エミフル MASAKI で行われ、当町はマッキーが参加しました。

同イベントでは、ゆるキャラグランプリに出場するみきゃんと松山市、東温市、砥部町のゆるキャラが登場し、グランプリに向けて PR を実施。グランプリには出場しないマッキーは応援をして会場を盛り上げました。

昨年度はバリィさんが優勝した「ゆるキャラグランプリ」。本年度は11月8日まで投票を受け付けています。

▼ 9月7日
障がい理解と支援のあり方を考える



発達障害者支援セミナーは、松前町総合福祉センターで開かれ、町内外から福祉関係者や住民が参加しました。

同セミナーは県発達障害者支援センター「あい♡ゆう」が毎年開催しているもの。当日は今治市発達支援センター渡邊節夫さんや当事者家族が講演を実施。参加者は障がいへの理解を深め、現場や生活の中で生かそうと熱心に耳を傾けていました。

▼ 8月28日
子どもたちは必ず守る



岡田保育園は伊予警察署の協力で、不審者対応訓練を行いました。訓練は、保護者を名乗る不審者が玄関から侵入し、保育園に居座るという想定で実施。不審者役の署員が、液体をばらまきライターを取り出そうとしたところを、さすまたを持った保育所職員が取り押さえました。喜安初枝園長は、「110 番や子どもの避難など、職員間で連携して行動ができるよう、いろいろな想定で訓練したい」と話していました。

▼ 8月25日
大間灯籠流し



大間地区の伝統行事である灯籠流しは、^{うらぼん}孟蘭盆の夜に有明泉で行われました。

朝から降り続いた雨も夕方には止み、「雨で水位も増して良かった」と口をそろえる皆さん。今年は、例年のように灯籠をひもでつないで整列させず、水の自然な流れに任せて流しました。訪れた人たちは、「家族が元気に過ごせるように」と願いを込めて、ゆっくりと流れていく灯籠を見つめていました。